

この「たより」は秩父市の皆様に、「コミュニティ・スクール」を知ってもらうためのものです。

平成 30 年 11 月 7 日発行
秩父市教育委員会



秩父市コミュニティ・スクールだより

「地域とともにある学校」を目指して

No. 9

市民性・社会性の育成とコミュニティ・スクール

去る 6 月 8 日（金）、埼玉県教育委員会主催のコミュニティ・スクール研修会がさいたま市で行われました。その中で、福岡県春日市教育委員会の平石氏による講演が行われました。

福岡県春日市は、福岡市の南に位置する人口 11 万人余りの市です。春日市は平成 17 年、全国で最も早くコミュニティ・スクールを導入した市町村の一つです。14 年に及ぶ先進的な取組の中には、参考になる事例が多くあります。

春日市ではすべての小・中学校にコミュニティ・スクールが設置されていますが、各校のコミュニティ・スクールの運営に当たり、春日市全体で、コミュニティ・スクールの目指すべき目標を共有して取り組んでいます。その目標の一つに「生きる力と市民性・社会性の育成」があります。市民性と社会性は同じような意味合いで使われることがあります。しかし厳密な定義は置くとして、「市民性」には自分の置かれた社会や環境に、個人としてより強く関わるという意味合いがあるように思われます。近年、学校教育と社会教育の連携の深まりとともに、学校教育の中に、市民性の育成を取り上げる自治体が増えてきました。

それでは、市民性を育むためにはどうしたらよいのでしょうか？

（以下の内容は、佐賀市 HP より「市民性を育む教育」を参考にさせていただきました。）

「市民性」については様々な解釈がありますが、ここでは以下のように考えます。

よりよい社会の実現のために、まわりの人と積極的に関わろうとする
意欲や行動力のこと

この「たより」は秩父市の皆様に、「コミュニティ・スクール」を知ってもらうためのものです。

具体的には、

- ① 身近な集団に進んで参加し、自分の役割と責任を自覚した言動をとる。
- ② 他の人々に対し感謝と思いやりの心をもった言動をとる。
- ③ 困っている人に出会ったとき、自分に何ができるか考え実行する。
- ④ ボランティア活動や地域活動に協力し、地域の一員としての役割を果たす。
- ⑤ 自治意識を持ってよりよい社会の実現に努力する。
- ⑥ 地域社会の習慣や伝統文化等の良さを知り、守り育てる行動をとる。

市民性を育むためには

- ① 異世代交流のできる活動の場を、地域の中にできるだけ多く設定し、子どもたちを参加させる。
- ② 地域主催の社会体験活動を、学校が可能な範囲で支援する。
- ③ 社会教育と学校教育の連携(意図的、計画的)による社会体験活動を核にした学習を展開する。

春日市では、各校の学校運営協議会を通して、学校・家庭・地域で学校教育目標を共有していますが、学校教育目標は、「市民性・社会性の育成」を目指して、将来の地域を担う人材の基盤をつくるという具体的な視点に立ったものであることを明確にしています。

春日市ではこれまでの取組の過程で、学校・家庭・地域の三者が地域の子どもたちの望ましい将来の姿を共有し、一体となって取り組める体制を築いてきました。

「地域とともにある学校」を目指して取り組んでいくために、学ぶべき点が多くあります。



春日市の取組は、HPでも知ることができます。

「春日市のコミュニティ・スクール」で検索すると閲覧できます。

秩父市教育委員会学校教育課

電話 0494-25-5228 ホームページ <http://www.city.chichibu.lg.jp/1900.html>